

# 来た質問・コメント

Yuto Kimura, RARiS, Tohoku Univ.

Aug. 8, 2024, GP-PU Interview

1. DAΦNEとあなたの研究の関連 (須田さん)
2. 宇宙創成とあなたの研究の関連 (井上さん)
3. 中性子星の何、どんな側面がわかるの？ (千葉さん)
4. あなたは高密度でクォークが出てくると言いました。なぜ？どのように？ (田村さん)
5. なぜDOLAMIなの？なぜドラエモンなの？ (井上さん)
6. DOLAMIを作るのに何円かかる？ (田村さん)
7.  $K^-pp$ だけじゃダメなの？ $K^-ppn$ で新たにわかることは何？ (肥山さん)
8. スライド提出遅れるのはけしからん。(須田さん)

## 感想

本番は8/8(木)でした。スライド初版を作り終えたのが8/5(月)でした。この時点でもはや遅すぎました。言い訳ですが先週まで2週間東海村で肉体労働をしていて疲れ果ててGP-PUの方に何もコミットできていませんでした。8/6(火)時安さんと宮部さんに発表を見てもらいました。質問練習も。モチベーションがクォーク単体から中性子星までは欲張りすぎだし、普通一つの研究でどっちにもアタックすることはできない、あと、タイムラインがわかりやすいようにした方がいいということで、スライド大幅改造。その後J-PARCミーティングで橋本さん七村さん佐久間さん佐々木くんに見てもらいました。こちらでもアドバイスの嵐で、またスライド大幅改変。8/7(水)朝にようやくまともなスライド完成。午後イチで大西さんに見てもらいました。すっきりしたね、との講評をいただきました。そこで、スライドはもう提出したのか？と大西さんに聞かれ、ハッとしました。そういえば提出期限は昨日の15:00までだったのです。急いで提出しました、なんとか受理されましたが、普通この段階で落とされても文句は言えません。後輩の皆さん、くれぐれもこのようなことを繰り返さないようにしましょう。発表時間は5分なので、原稿を覚えるのはそこまで大変ではありません。15回くらい練習すればできるようになります。その日の夜大西さんと時安さんに90分ほど練習付き合ってもらいました。「パウリの排他律は書かない方がいい、この写真の順番入れ替えた方がいい」などスライド構成に関するアドバイスをいただきまし

たが、残念ながらもう提出済みなのでもう直せません。後輩の皆さん、スライド作りは最低限1週間は余裕を持って、まともなのを完成させましょう。

さて、20時くらいに大西時安練習を終え、丸亀で夜飯を食ったあと、今まで出てきた質問を紙にまとめました。大体20問くらい。主に対策が必要なのは、

- 
1. これまでやってきたこと（僕の場合はCNC test exp.とE73）から何を学んだか。
  2. これまでやってきたことで最も大変だったこと、最も頑張ったことは何か。
  3. ストーリーに一貫性があるか。例えば、あなたの研究と宇宙創成の関連、あなたの研究で新たに明らかになること、など。
  4. 基本的な数字。例えば僕の場合、アクセプタンスは何倍になるのか、 $\bar{K}N$ は強いと言ってるけど、他と比べてどれくらい強い、束縛エネルギーの比較材料、通常核の密度、など。時安さん曰く、「自分の理解度を示す手っ取り早い方法は、数字を細かく言うこと」、例えば円周率を3.14と答える人より3.141592…といつまでも答える人の方が凄みが出るし面白いですよ。
  5. 中学生に自分の研究の面白さを伝える。（ちなみに僕が前回受けた時は「小学生」ver.でおったまげましたが。）なるべく難しい言葉を使わないようにしましょう。（前回「K中間子原子核って言った瞬間に井上さんに「それは小学生は分かりません」と遮られました。）
  6. （全て自分でやってる人じゃない人は）どこまで他の人がやって、どこからどこまでを自分が担当しているのか。（この時注意しなきゃいけないのは、他の人がやってることも聞かれる可能性があるということ。完成予定期、納品予定期も聞かれやすい。）
  7. 将来どんな研究者になりたいか。

---

くらいだと思います。アドバイスは、ある程度フローチャートを作っておくべきだということ。というのも、大体上の7個の質問に収束するからです。上の7個の質問に対する回答がcore answerになります（4は除く）。そして質問の意図が読めない、または答えられそうになかったら、「Do you mean ~?」で自分のフィールドに持ってくればいいです。優しい先生ならyesと言ってくれると思います。ダメならもう一度言ってくれるので、これ言ってマイナスなことはありません。

さて、時安さんに寝不足はダメだよと言われましたが、寝て準備不足で後悔するよりは寝ずに準備不足で後悔する方がマシなので、結局0時まで質問対策をして、ユートピアでサウナ入って、電子光帰ってきて2:30までまた練習と質問対策をしました。大西部屋で6時まで寝ました。そこから7:30まで練習と質問対策。8:30に家に帰り、30分だけ寝て試験会場（青葉山）に行きました。

手応えは△です。8~9割しっかり答えられました。相手が納得までしたのは5~6割だと思います。9月は留学生との勝負なので、後輩の皆様は2月でしっかり準備をして合格を勝ち取りましょう。僕は前回も今回も英語ではなく、物理の理解が足りなくてやられた感じがしています。おそらく落ちた人、みんなそうなんじゃないかと思っています。大西さんもそう言ってます。

---

長々書きましたが、皆様が僕と同じ後悔をしないことを願っております。

(2024, M2, 木村佑斗)